

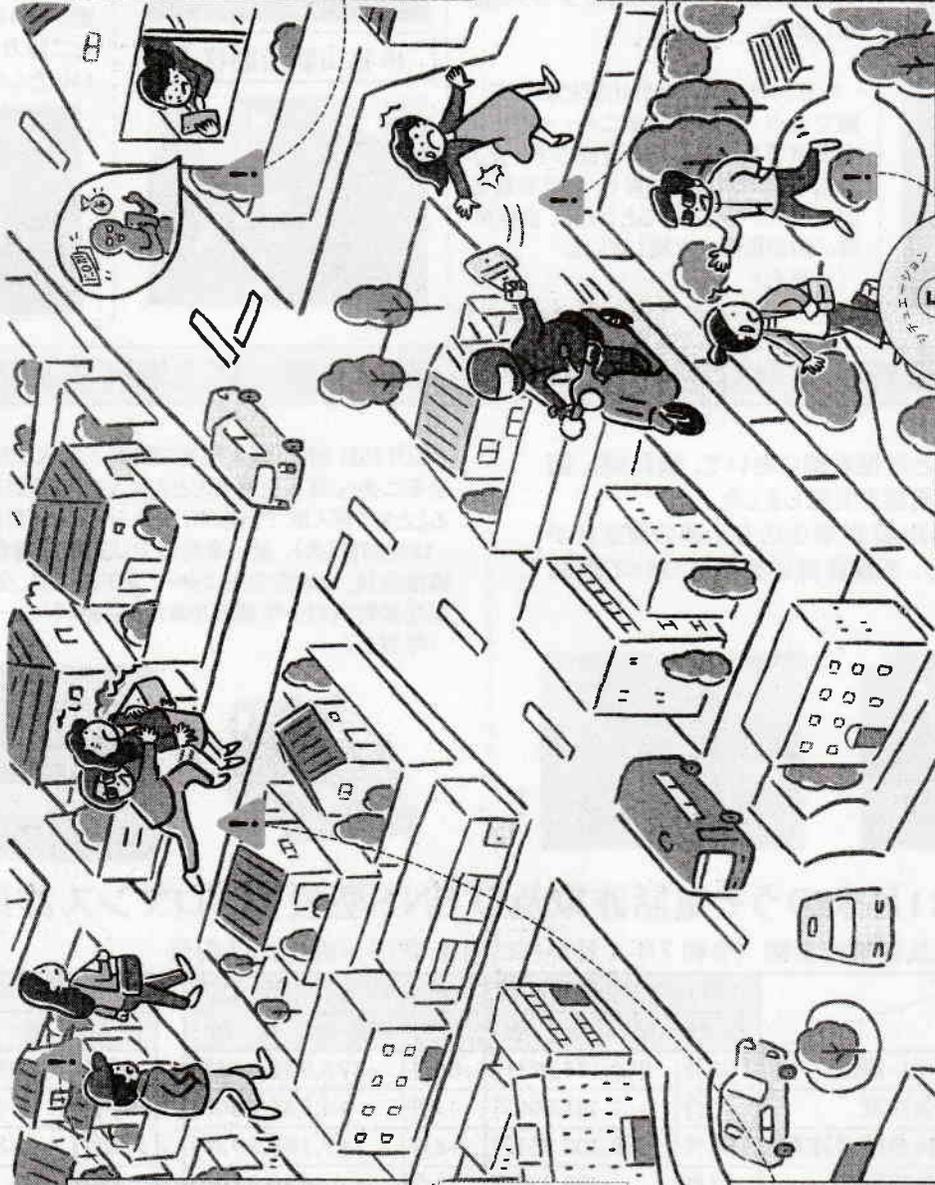


◆自分たちの地域は自分たちで守る！◆

日常にひそむ危険を知ろう！

女性が遭いやすい犯罪

通勤や買い物などで歩き慣れている道だから安心とは限りません。犯罪者は何気ないふりを装って街を観察し、ちよっとしたスキを狙って声をかけたり、身体に触れたりします。また日常的に使っているSNSにも注意が必要。見知らぬ相手とのやり取りも回数を重ねると親しみが生まれ、そこにスキができます。自分の暮らしの中にどんな危険がひそんでいるか、考えてみましょう。



1

自宅までつけられる

最寄り駅などから後をつつけられる事案が多く発生しています。駐車場が住まいと隣れている場合も注意が必要です。

【対応策】

近づく人影が足音などに注意を払いましょう。自宅に近づいたら、さき高く周囲を巡回して確認を。集合住宅の中に入っても自分の家の中に入るまでは「屋外」であると感じて後からついてくる人や近づいてくる人に気を配りましょう。

歩きスマホは控えましょう

歩きながらスマホの画面を覗いたり、操作をしたりすると、周囲の状況に対する注意力が低下し、ひたたくりや痴漢などの犯罪被害に遭いやすくなります。また、自転車や自動車への接触事故や転倒事故の危険性も高まります。

2

後をつけてきたり急に抱きつかれる

注意力が散漫になっていたり、暗がりにいるわずかな時間に、身体を触られたり抱きつかれたりする危険があります。

【対応策】

疲れていたり、急いでいると、注意力が低くなりがちです。よく歩く道でも周囲への注意を怠らさず。電車や軽便車は灯りが暗く場所を狭く、理の場合は自分以外の人影を感じたら、乗降口近くに乗ってロックしましょう。自転車の場合は、大きな声を出したり得意いほうへ移動します。

3

SNSで勧誘

SNSで知り合った相手と連絡を取るようになると、初めは用心していても、次第に個人的なことを書き込んだり、親しみを持つようになりがちです。犯罪者はそこを狙って、投資や副業ビジネスに勧誘したり、資金援助を求めたりします。

【対応策】

SNSで知り合った人からお金の嵐が来たら、詐欺を疑いましょう。

4

ひたたくりに遭う

人通りの少ない道を歩いたり、自転車で歩いたりすると、後から近づいてきたバイクに乗った犯罪者にバックや自転車のカゴの中の荷物をひたたくられる危険があります。

【対応策】

多少遠回りになっても、明るくて人通りの多い道を通ひ、バックは車道とは反対側に持ちましょう。高級機種のATMなどを利用した直後は、財布をバックにしまってから移動してください。自転車のカゴにはひたたくり防止カバーを付けましょう。

5

公園での声かけ、身体への接触

早朝や夕方以降などの公園は人目が少なく、隠れる場所も多いので犯罪の危険性が高まります。

【対応策】

近道としても、人目の少ない時間帯の公園は避らないようにしましょう。

女性の防犯対策

小さなことでも習得しましょう。

帰宅時 夜間は遠回りでも明るい道を利用し、定期的に番号リストの変更を

就寝前 玄関、窓、ベランダなどの施錠を確認しましょう。